

# 気を付けよう！トラッキング火災



あなたのご家庭の冷蔵庫やテレビ、洗濯機などの電源プラグ、長期間差しっぱなしにして、ホコリが溜まっていませんか？

湿気が多い場所で電源プラグとコンセントやテーブルタップの間にホコリが溜まると電源プラグの2本の差し刃間で小さな火花が発生し、本来は電気を通さないはずの差し刃間の樹脂表面に電気の通り道ができ(トラッキング現象)、最終的にショートし火災に至ることをトラッキング火災といいます。



トラッキング火災は、その電気製品を使用していなくても、通電しているコンセントやテーブルタップに差し込んでいれば発生する可能性があります。

## 再現実験を実施しました

1. 電源プラグとコンセントとの間に脱脂綿を詰め、導電性の良い液体をかける。



2. 電源プラグの2本の差し刃間で火花放電が繰り返し発生する。



3. 焦げ臭いにおいが発生し、煙の勢いが急激に増す。



4. 白色の閃光とともに激しく炎が数秒間噴き出す。



## 家の中の電源プラグを点検しよう！！

あなたの家の電源プラグ、こんな状態になっていないですか？



## トラッキング対策品を使おう

現在、一般家庭で日常的に使用される電気製品の電源プラグについては平成27年に法改正があり、トラッキング現象を起こしにくい素材で作るように義務づけられています。一度、設置したらなかなか掃除や移動しない電気製品については、法改正後の耐トラッキング性のあるものを使うようにしましょう。



※ 再現実験では、旧規格の電源プラグは10分かからずトラッキング現象が発生し出火したのに対し、新規格の電源プラグは30分以上にわたり同様の状況を継続させても出火しませんでした。



迎えよう 新しいプラグで 新年度

Presented by T. A